

参加を実感できるまちづくり：  
オープンな情報共有と地域ガバナンス

## オープン・ガバメントと まちづくりへの「参加」

庄司昌彦 Masahiko SHOJI  
国際大学GLOCOM 主任研究員  
shoji@glocom.ac.jp Twitter:@mshouji

JASUISIS110909

1

## 問題意識

- どうすれば(情報の活用やコミュニケーションに基づき)まちづくりや公共的な取組みへの「参加」が進むのか？
  - ネットの力が公共の役に立っていない
    - 世界的に影響を持つオタク文化、コンテンツ創造
    - IT利活用後進国(行政・教育・医療)
  - オープンガバメントの進展と停滞
    - 東日本大震災：民間の自発的な取組みが公共に貢献
    - 2種類の取組みの連携が不足？
      - 社会関係資本増加や包摂を志向するボトムアップ型の取組み
      - 行政や技術者による「オープンガバメント」の仕組み作り

JASUISIS110909

2

## オープンガバメントとは

- 米国オバマ大統領
  - 「Transparency and Open Government」覚書 2009年1月
  - 「Open Government指令」2009年12月



JASJIS110909

3

参考

## オープンガバメント論の形成

- OECD (2001) "Citizens as Partners: Information, Consultation and Public Participation in Policy-making"
- OECD (2005) "Modernizing Government"
  - 国民と政府がICTを通じてこれまで以上に接近する環境で、ICT活用に新しい価値を見出す
  - 国民からの信頼性向上、新しい民主主義の模索
  - 情報開示強化による更なる透明化、政策形成への更なる国民参加を期待
  - 政府と国民の協働や国民の政府への接触の改善
- Noveck (2010) "Wiki Government"
  - 「新たな技術を積極的に活用した協働の拡大が、よりよい意思決定と積極的な問題解決をもたらし、さらには経済と社会の成長に拍車をかける」

JASJIS110909

4

参考

## 創発民主制 (Emergent Democracy) by 伊藤穰一 (2003)

- ブログやWIKIの活用から着想
- (ツールの進化に伴うインターネットの)覚醒は、権力が企業や政府に集中した結果として腐敗してしまった民主制が本来もっていた基本的属性を支援するため、技術によって可能になったひとつの政治モデル構築を促進することになるだろう。
- 新しい技術は、より高度の秩序をもたらし、その結果として、複雑な諸問題に対処しつつ現行の代表民主制を支援、変更、もしくは代替しうような、新しい形の民主制が創発してくる可能性がある。
- 新しい技術はまた、テロリストや専制政治体制をエンパワーする可能性も持っている。これらのツールには、民主制を高度化する力もあれば劣化させる力もあるため、われわれとしては、よりよい民主制のためにこれらのツールが開発されるよう、できるだけ影響力を発揮しなくてはならない。

Version1.3 公文俊平訳 (2003年3月) [http://www.glocom.ac.jp/odp/library/75\\_02.pdf](http://www.glocom.ac.jp/odp/library/75_02.pdf)

5

参考

## 英国の公共アプリ

### Fix My Street

- 英国のチャリティ団体My Societyが運営
- 落書きや不法投棄、壊れた舗装などの情報を地域住民がオンライン地図に登録し行政に知らせる
- 周辺地域で起こっている他の問題、解決された問題などを閲覧できる



JASJIS110909

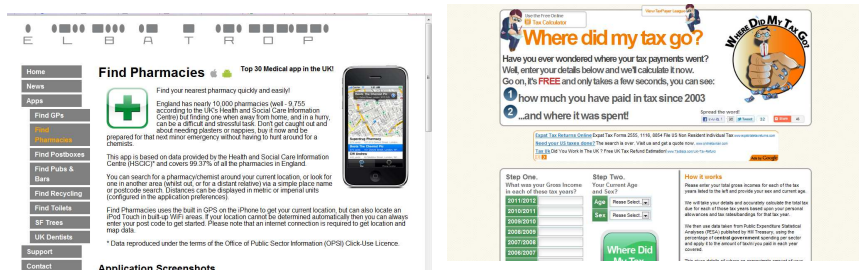
6

参考

## 英国政府 データを活用した 公共アプリ

近所の薬局を探し出す

各自の納税額に応じて  
使い道を示す



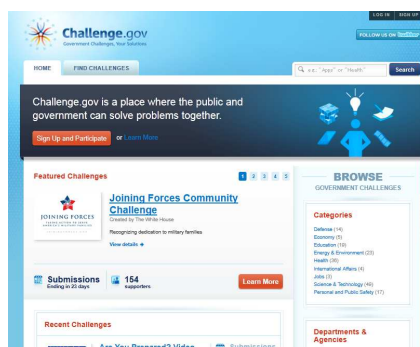
JASISIS110909

7

参考

## 米政府 Challenge.gov

- 調達庁(GSA)2010年9月～
- 政府機関が社会的課題を提示。解決のアイデアをコンテスト形式で集める
- 採用アイデアに賞金。実現に予算を投入する場合も
  - NASA: 1人当たり1ガロン(3.8L)のガスより省エネで200マイル2時間以内の飛行技術→\$165万
  - エネルギー省: 「通常電球を代替する新技術」→\$1500万
  - 農務省: 「子供の食生活改善レシピ」→\$12000(総額)
  - 労働省: 仕事紹介ビデオの募集



JASISIS110909

8

- 住民による自発的な協働が次々と立ち上がるような環境はどう作られるのか



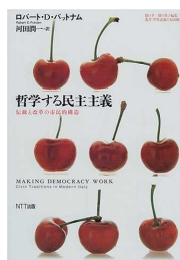
- 社会関係資本(ソーシャルキャピタル)が豊かな地域では住民による自発的な活動が盛ん

JASJIS110909

9

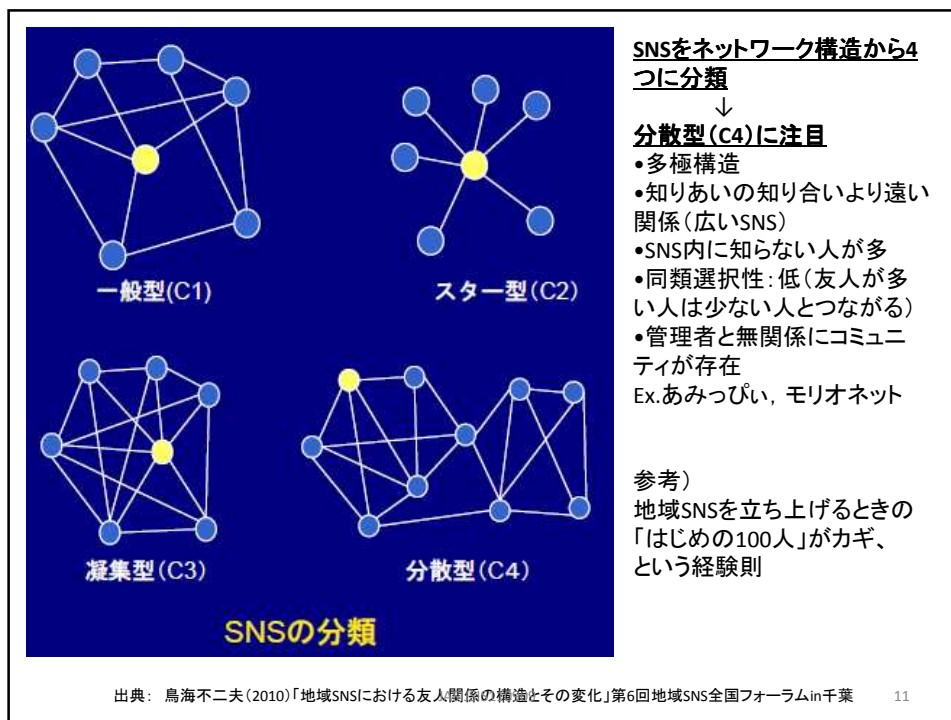
## ソーシャルキャピタル (社会関係資本)

- R.パットナム
  - 南北イタリアと米国の研究
  - 協調行動を活発にする社会的特徴
    - 信頼
    - 互酬(互いに与え合う)ルール
    - 市民参加のネットワーク
  - 「結束型」と「橋渡し型」



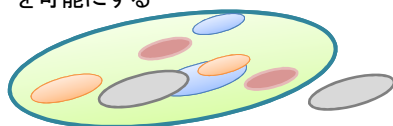
JASJIS110909

10



## ネットワークとしてのガバナンス

- **さまざまな組織の連携をコーディネートしながら進める行政のあり方**
- 資源の調整が政府のコアとなる責任
- パートナーとの協力を支援し、信頼を構築する情報通信技術
- ネットワークの運営管理(分権的・流動的な形態と、各メンバーの自律性)が、最適なレベルでの意思決定を可能にする
- 目標を統一・監督し、コミュニケーション崩壊を回避し、メンバーを調整し、競争と協調の関係を管理し、データの欠如と能力の不足を克服
- コミュニケーションチャンネルを構築し、参加者を連携させ、知識を共有し、価値観とインセンティブを調整し、信頼を築き、文化的差異を克服
- 価値と成果を明確にし、プロセスを柔軟にすることで、発起人と参加者の関係を協調的にする

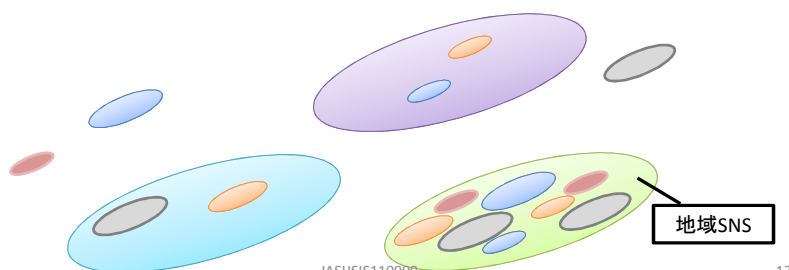


Stephen Goldsmith, William D. Eggers, *Governing by Network: the new shape of the public sector*, (2004, The Brookings Institution Press). [城山英明、奥村裕一、高木総一郎監訳『ネットワークによるガバナンス 公共セクターの新しいかたち』学陽書房、2006年] JASJIS110909 12

## 地域SNSと 「ネットワークによるガバナンス」

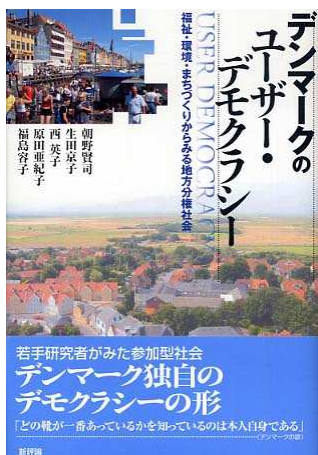
- 地域SNSは、多極のひとつであると同時に、  
たくさんの極を生み出す場である。

地域SNSが「ネットワークによるガバナンス」の全体になるのではなく、  
ひとつのグループまたは複数のグループの集合体と捉える方が適切。



**多様なグループを  
誰がどのように作るか？**

## ユーザーデモクラシー



- 『デンマークのユーザー・デモクラシー—福祉・環境・まちづくりからみる地方分権社会』
- 朝野賢司、生田京子、西英子、原田亜紀子、福島容子
- 新評論（2005）

JASJIS110909

15

### 目次

1. ユーザー・デモクラシーを支える地方分権型行財政システム
2. ネットワークが支える個別ケア—痴呆コンサルタントの仕事
3. 「小さな地区」における福祉の実践—コペンハーゲンにおける訪問看護・介護
4. 高齢者団体—受け手から主体へ—高齢住民委員会について—政策決定過程への住民参画とその歴史
5. デンマークのまちづくり—社会・都市・自然環境と人のつながり
6. 地方環境エネルギー政策—一九七〇年代以降の展開と今後の展望

### ユーザーデモクラシーとは

- 高齢者福祉、育児、教育、医療等の公共サービスのユーザーを、地方自治体の政策決定および実施過程に直接参加させる概念。
- デンマークは70年代に大規模な地方自治体の再編があり、地方分権がヨーロッパでも最も進展。
- 公共支出の抑制が第一とされる中、規制緩和や行政の効率化ではなく、市民参加を推し進め独自のモデルを構築。

JASJIS110909

16



## デンマークの地方分権

- 地方自治体の歳入の自治を尊重
  - 所得税(地方税が中心)の占める割合が大きい。
  - 地方政府に強い課税自主権
- 給付
  - 地方政府が担う社会保障関連、特に教育分野が極めて多い。
- 決定
  - 全ての市にユーザー・ボードの設置義務
  - 幼児教育、小学校教育、中学校教育、病院、高齢者介護 等
  - 地方政府への助言だけではなく、管理・執行にまで拡大した分野も(学校等)

JASUIS110909

17

## ユーザーデモクラシーの評価

- 自治体の支出は増加しない
  - 管理・執行はユーザーでも、予算総額の管理は自治体
- 「エブリデイ・メーカー」がカギ(Henrik P. Bang)
  - デンマークの地域社会には、政治的潜在能力のある人的・知的資源が点在しており、「社会関係資本(social capital)」だけでなく「政治資本(political capital)」が存在
  - (国の政治に対してというよりはむしろ)日々の生活において解決すべき具体的な問題に関心を寄せ行動を起こす「サブエリート」がデンマークの地域社会には点在
  - 身近な具体的な課題の解決に向けて参加する自律した人々のことをeveryday makerと呼ぶ

JASUIS110909

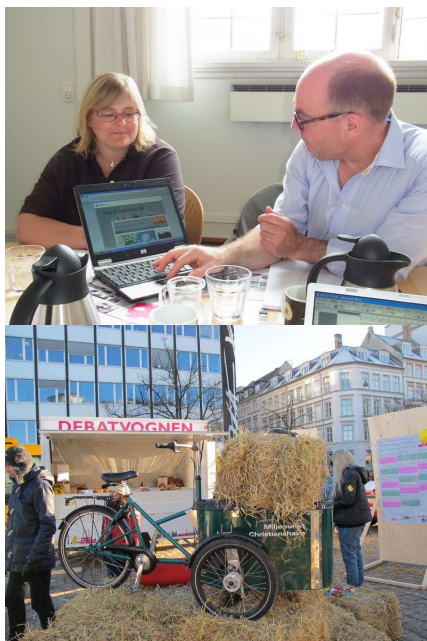
18

## コペンハーゲン市ローカル委員会

- ローカルな民主主義を推進する市のモデル事業
- 12区全てに1つずつ設置。直接市民投票ではなく、4年に1度の市民の選挙委員会で話し合い選出
  - 全部で23人。16名は多様な団体に配分。7名は各政党の代表
- 区民の見解が市議会に反映されるようにする連絡係
  - 地区予算の使い道等を議論し市議会や公聴会で意見表明
  - 毎年250万クローネの予算の使い道を自分たちで考える
  - 市全体の政策についての決定権はない。区的环境、児童の遊ぶ環境、特別なプロジェクト等に予算を使える

JASJIS110909

19



出所：(上段)筆者撮影、(下段)  
<http://indrebylokaludvalg.kk.dk/fotoalbummer/cykelkarma-event-januar-2010>

JASJIS110909

20

- 「存在目的は、市議会の決定がよい品質であるようにすること」
- 物事の決定過程で討論を重視する伝統。決定者のみならず、他の人々も討論に入れ、政治を効率化
- 決定権を持たない人々も所有感を持つことで決定が長持ちする
  - 決定前の討論がカギ
  - 意見が合わなくても、理解することで、決定を受入れ尊重
- 多くの人の意見を聞く工夫
  - 委員や事務局の人がホットドックスタンドから町の人に話しかけて意見を聞く「ディバートワゴン」
  - 夕方のスーパー

## 日本の類似事例：掛川市

- 「市民総代会・地区集会」
  - 各地区から自治区役員などの参加者が集まり、地域が抱える問題や課題などについて、市長・幹部職員等と意見交換
  - 意見や要望は、重要度・緊急度に応じ翌年の施策や予算編成に反映。意見等に対する市の考え方を『市長・区長交流控帖（市民総代会の記録）』としてまとめ各地区などに配布
- 生涯学習
  - エブリデイメーカーを育て、彼らが地域に貢献することを表現
  - 情報のハブ、編集者、ファシリテーター、マネージャー...

JASUIS110909

21

## 震災で見えた メディアの地域・民間・複線化

- 「地域」である意義
  - ハイパーローカルな生活情報へのニーズ
  - 帰宅難民のパニック回避
  - 物資・救助要請
- 「民間」である意義
  - 行政が手を出しにくい「不確実な(リスク)情報」の提供
  - スピードと柔軟性
- コミュニケーション手段の「複線化」
  - 電波(テレビ、ラジオ)、紙媒体(新聞、雑誌)、固定電話、携帯電話、SMS、メール、ソーシャルメディア、対面
  - コミュニティFM局が核となる可能性

JASUIS110909

22